

## 1 【活動の趣旨】

校章のモチーフである「なでしこ」の花を育てることにより、親しみをもち、愛校心を育てる。校地内にある学校田で地域の方の協力を得て稲を育て、地域の人との関わりを深めたり、自分たちが食べているお米の生育を学んだりして、感謝の心を育てる。また、野菜作りなどを通して、地域の方の知恵を学び、優しさに触れ、交流を深める。学校と家庭、地域の方が連携して、子どもたちの学びをより豊かなものにするように努める。

## 2 【特徴的な活動内容】

### ○「なでしこの花を育てよう」

環境ボランティアや湖南農業高等学校の協力を得ながら、なでしこの苗を植え、水やりや草引き作業等、日々世話をし、育てている。

### ○「水のめぐみ“米づくり”（5年）」

「サツマイモ作り（1年）」「昔遊び（1年）」



【5年 お米の収穫祭】

5年生の総合的な学習の時間では、敷地内にある学校田で稲を育てている。毎年、土づくりから収穫まで、環境ボランティアが児童一人ひとりに丁寧な指導をしており、草ひきなどの世話も児童と共に実施している。サツマイモづくりも実施しており、例年、収穫後に「お米の収穫祭」や「サツマイモパーティー」を開催し、学んだことを発表したり収穫したお米やサツマイモをともにいただいたりしながら交流を深めている。今年度も収穫祭として学習発表の場とした。1年生の生活科では、地域の老人会の方に昔遊びを教えていただいた。

## 3 【実施に当たっての工夫】

事前打ち合わせでは、ボランティアの方の想いや活動の工夫などを伺い、活動学年の担任や関わる児童に伝えることで、学校とボランティアがともに活動をつくっていけるように心がけた。収穫祭には、環境ボランティアなどの地域の方に来ていただき、感謝の気持ちを伝えると同時に、体験を通して学んだことや今後の米作りについて考えたことを発信する機会とした。

## 4 【事業の成果】

継続して取り組んでいることがボランティアの方の「私たちが草津小学校の教育活動を支えている」という誇りや生き甲斐につながっている。関わりが深まることで、児童は「いろいろな人に見守ってもらっている」と感じ、豊かな心の成長につながっている。

## 5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

年4回の学校運営協議会において連絡調整をしながら実施している。ボランティアの方々の高齢化が目立つこともあり、PTAや地域の方々への参加協力を得られるよう学校から地域へ今後も発信していきたい。また、スクールESDに取り組みながら課題を解決していきたい。